

ステップ1： 参加者分析

4班

受験生

入学生

高等学校の
教員

入試担当
教員

大学職員

保護者

企業(塾etc)

ステップ2: 目的系図・ 実行プロジェクト選定

4班

危機感を
皆が共有し
ている

授業料等
収入が増
える

大学に
人気
がある

受験倍率
が年々上
昇している

適切な数の
受験生を確
保できる

進路担当
の教諭と連
携している

指導担当教諭
以外を対象と
した説明会が
なされている

表3の回答の中
に「大学の説明
を聞いて魅力を
感じたので」が
ある

入試制度

入試広報

オープンキャンパス

出前授業

訪問説明会

定員を充足している(特別高校推薦)

求めるレベルが適切である

特別高校推薦入試の導入(入学定員は適当)

枠の割り振りが適切

不本意入学が少ない

学びたい分野が多い

選んだ理由が積極的である

志望順位が高い

入試広報の効果が出ている

「特別高校推薦」制度の周知が十分である

入広報関係のイベント数が多い

入試広報関係のイベント出席者数が多い

瀬梅井会会場が近い

オープンキャンパスの生徒ウケが良くなる

オープンキャンパスの内容が充実している

講義内容が良い

模擬授業が楽しい

オープンキャンパススタッフの数が多い

入試広報担当教職員以外の参加率が高い

モチベーションが高い

イベントの趣旨が理解されている

(オープンキャンパス)手当がもらえる

出前授業の回数が多い

出前授業のニーズが高い

担当教員が多数いる

訪問説明会の回数が多い

大学から高校への説明が多い

(全部に)
予算が
多い